

確保技術講習会を開きます。

愛知県勤労者山岳連盟 遭対部

新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言が解除されても、油断できない状況が続いていますが、少しずつ仲間たちが山に戻り始めています。山も、山の施設も、登山者も、コロナ以前とは大きく違った登山環境に置かれることになりましたが、山の事故は無くなりません。にもかかわらず、山小屋の休業、診療所の閉鎖、救助活動が制限されるなど、以前のように事故対応をすることが難しくなっています。一層の安全登山が求められています。

以前のような登山活動のできにくくなっている時期ですが、遭対部では、逆に、今が学ぶチャンスととらえ、事故防止を進める一環として下記のように「確保技術講習会」を実施することを決めました。

講習会では、クライミングや沢登りをはじめ、一般道での危険個所の通過や転・滑落者の引き上げなど、普段私たちがおこなっている「確保」技術が果たして安全かどうか、を、理論と実際の両面から学びます。具体的には、人工壁で、墜落者の落下を止める確保のシミュレーションを行い、墜落による危険性を体感するとともに、ロープや支点、確保者にかかる衝撃や荷重の大きさを測定することで、どうすれば安全な確保ができるかを学びます。

確保する人も、確保してもらいたい人も、知っておきたい確保技術を学習する機会です。

多くの仲間が参加してくださるよう呼びかけます。

記

愛知県勤労者山岳連盟 確保技術講習会

とき及びところ	理論講座	10月12日(月)	19:30～	県連事務所
	実技	10月18日(日)	9:00～	滋賀県・比良山岳センター

対象者 確保について学習したい会員

参加費 2000円（実技の会場使用料その他。理論講座は無料）

参加申し込み 各会の理事、遭対担当者を通して、下記へ
県連遭対部長 佐藤和男（電話090-2578-1525か、
e-mail k-310-satou@dream.jp まで）